

ウエスギ

遺品整理事業スタート

トータルサポート展開



上杉社長

同社社員の親族が亡くなった際、信頼して遺品整理を依頼できる業者がなかったため、同社が遺品整理を行うことが事業立ち上げ

のきっかけ。長年にわたって培ってきた信頼・信用を背景に、三重県を中心に全国各地でも出向き、遺族をサポートする。

ハウスクリーニングから建物の解体、不要物の処理以外にも、ペンキ塗りや不動産の売却のサポート、霊園や墓石、仏壇のあっせんなど幅広く行っている。上杉社長は「悲しみの中にある遺族の手を煩わせずに、故人の最後の引越しのお手伝いをさせていただければ」と話す。

同社は創業1921年の大手産業廃棄物処理業者。被覆電線スクラップのナゲット加工処理や鉄・非鉄金属スクラップのリサイクル、解体工事業とこれに伴い発生する廃棄物の中間処理(破碎)、独自プラントで工場廃液を処理する廃液処理業務など、幅広くリサイクル業を手掛けている。

総合リサイクル企業のウエスギ(本社三重県四日市市天力須賀新町1-32、上杉圭司社長)はこのほど、新規プロジェクトとして社内に「メモリスポート事業部」を発足し、遺品整理事業を立ち上げた。これまで産廃処理事業で培ってきたノウハウや技術、信頼を生かし、亡くなった方の遺品の整理からお墓の紹介まで遺族をサポートする。